



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 石原 宏高 殿

令和8年1月14日  
前田道路株式会社 今泉保彦  
代表取締役社長

前田道路は「ともに、未来につづく道を」、経営理念として、社会からの期待・要請に真摯に向き合い、コンプライアンス、安全を最優先し、豊かな地域社会に貢献すべく、「人と環境にやさしい道づくり」を実現してまいります。

## 1. 脱炭素社会の実現にむけて、CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組みを積極的に推進します。

- 環境マネジメントシステム ISO14001 を活用し、環境配慮型経営に取り組みます。
- サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量を開示し、事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量（Scope 1 + 2）を、2050 年までに実質ゼロにします。
- 低炭素合材の製造・販売を推進することで、自社の Scope1+2 のみならず、顧客の Scope 3（上流）削減にも貢献します。そして低炭素舗装を社会全体に拡げることができるよう取り組んでまいります。
- 各気候変動イニシアチブ（TCFD・SBT 認定目標水準 1.5°C・CDP の質問書に回答・RE100）に準拠した算定、報告をすることで、社内の意識醸成、行動変容の促進に繋げ、脱炭素の取り組みを加速させてまいります。
- 温室効果ガス排出量算定において、第三者検証を受けることで開示情報の信頼性を高め、継続的に精度向上に取り組んでいきます。

## 2. 循環型社会の実現に向けて、資源の有効利用への取り組みを積極的に推進します。

- 省資源化や再生材の利用を継続して推進するとともに、2030 年までにアスファルト合材製造事業に投入する再生材料の割合を 50%以上にします。
- 建設工事現場から排出されるアスファルト塊・コンクリート塊を主とするがれき類の受入をし、再生骨材・再生路盤材として再生しています。2040 年までに再資源化率 100%の達成を目指します。
- 全ての事業所で分別回収を行い再資源化に取り組むとともに、社内エコポイント制度「Me-pon」を活用し、社員一人ひとりの取り組みを推進していきます。

## 3. 生物多様性の保全に資する取り組みを推進します。

- J-GBF「ネイチャーポジティブ宣言」のもと、生物多様性の損失を抑制し、マテリアリティの一つである「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、生物多様性の保全を含む事業活動を続けていきます。
- インフラと生物多様性の共生を目指し、ISO14001に基づく環境管理体制を活かし、多様な視点を取り入れながら、環境保全に取り組み続けます。

前田道路株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、環境省に報告するとともに、ホームページ等を通して公表してまいります。



前田道路株式会社

MAEDA